

教授
坂田 郁子

■ 学歴

1. 2010年 福岡女子大学大学院卒業

■ 学位

1. 2010年 修士（人間環境学）

■ 研究分野

1. 公衆栄養学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 食環境
2. 減塩
3. 減塩食品

■ 研究課題

1. 厚生労働省「予防・健康づくりに関する大規模実証事業」（イ）食行動の変容に向けた尿検査及び食環境整備に係る実証事業に協力し、高血圧予防のための減塩とカリウム増加の働きかけ手法の検討を行う。
2. 食堂の環境改善が労働意欲や健康状態に及ぼす効果について検証を行う

■ 担当授業科目

1. 公衆栄養学Ⅰ（後期）（栄養学科）必須
2. 公衆栄養学Ⅱ（前期）（栄養学科）選択
3. 公衆栄養学実習（後期）（栄養学科）必須
4. 地域栄養活動論（後期）（栄養学科）選択
5. 臨地実習Ⅲ（後期・前期）（栄養学科）選択
6. 総合演習Ⅱ（前期）（栄養学科）選択
7. 管理栄養士演習Ⅱ（通年）（栄養学科）選択
8. 臨床栄養管理演習（前期）（栄養学科）選択
9. 初年次セミナーⅠ（前期）（栄養学科）必須
10. 初年次セミナーⅡ（後期）（栄養学科）必須
11. 調理師論（前期）（栄養学科）選択

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	<p>授業科目名【公衆栄養学Ⅰ・Ⅱ】</p> <p>集団や地域の健康・栄養改善のために、栄養課題やニーズを把握し、対象団体の特性に応じて、適切な栄養関連サービスを提供する公衆栄養プログラムの作成、実施、評価・フィードバックするための知識や方法を修得させるため、自治体で実施されている実践事例を紹介し公衆栄養プログラムへの理解を深めた。</p>
2.	<p>授業科目名【公衆栄養学実習】</p> <p>公衆栄養学Ⅰ・Ⅱで修得した知識・技術を基に、地域診断、既存資料の活用、文献検索を行い、グループ毎の主体的な取組みを尊重しながら、PDCA サイクルに基づいた公衆栄養プログラムが作成できるように指導した。</p>
3.	<p>授業科目名【地域栄養活動論】</p> <p>地域のあらゆる場面で活躍する管理栄養士の業務について外部講師の講義を交えながら解説を行い、管理栄養士の役割や多職種連携について理解させるとともに、臨地実習Ⅲに臨むための基礎知識の修得に努めた。</p>
4.	<p>授業科目名【臨地実習Ⅲ】</p> <p>実習期間中に実施される実習課題内容を事前に確認し、課題への指導を徹底して行い、臨地実習が有意義なものとなるように取り組んだ。臨地実習の巡回時には、実習での学びが今後の授業や職業選択に活かされるように、実習中の学生への助言を行った。また、今年度はコロナ蔓延防止期間中のため、2週間前から健康管理の記録、自粛行動を遵守させ実習に臨ませた。</p>
5.	<p>授業科目名【管理栄養士演習Ⅱ】</p> <p>管理栄養士国家試験教科「公衆栄養学」分野の出題傾向およびポイントを理解するために、国家試験の過去問題を分析し、出題傾向に的を絞った問題を作成し解説を行った。また、苦手な問題は何度も練習問題を解かせ、克服することに努めた。</p>
6.	<p>授業科目名【臨床栄養管理演習】</p> <p>臨床栄養管理演習は、病院栄養士を希望する学生が選択する科目であるため、病院に就職した際により専門的な知識を修得することができるように工夫した。</p>
7.	<p>授業科目名【初年次セミナーⅠ・Ⅱ】</p> <p>初年次セミナーⅠでは、大学で学ぶためのスタディ・スキルの基本である「聞く」「調べる」「読む」「書く」「考える」基礎的な知識の強化を図り、主体的に学ぶ技術の習得を目指した。</p> <p>初年次セミナーⅡでは、個人あるいは集団での学習活動を軸に「発表する」「討論する」知識の強化を図り、プレゼンテーション能力の習得を目指した。</p>
8.	<p>授業科目名【調理師論】</p> <p>管理栄養士が同じ職場で働く主な他職種である調理師を理解するために開講されている講座において、給食施設で働く調理師が最低知っておくべき知識である公衆衛生学分野の法律や食中毒を起した場合の対処法について講義を行い、調理師が身につけている知識を理解するように工夫した。</p>

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1987年2月～現在に至る	福岡県公衆衛生学会	

2.	2005年3月～現在に至る	日本栄養改善学会	
3.	2006年5月～現在に至る	日本公衆衛生学会	
4.	2018年5月～現在に至る	日本在宅栄養管理学会	
5.	2021年9月～現在に至る	日本高血圧学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					
（学術論文）					
1.					
2.					
3.					
（翻訳）					
1.					
2.					
3.					
（学会発表）					
1.	2023.9	女子大学生における朝食摂取状況の違いによる運動習慣や身体あるいは精神上的の自覚症状の検証	共	第70回日本栄養改善学会（於名古屋国際会議場）	①女子大学生の朝食バランスや小学校からの朝食摂取習慣の違いによる運動習慣、身体あるいは精神上的の自覚症状の違いについて検証し、朝食摂取が心身に与える影響についてまとめた。 ②共同発表者名：永原真奈見、坂田郁子 ③第70回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集(P283)
2.	2023.10	食堂の環境整備が健康状態に及ぼす効果	共	第82回日本公衆衛生学会総会（於つくば国際会議場）	①食堂改築にあわせたヘルシーメニューの提供や利用者の健康に繋がる健康情報の発信が、職員の健康状態や健康意識与える影響についてまとめた。 ②共同発表者名：坂田郁子、太田雅規(福岡女子大学大学院) ③第82回公衆衛生学会総会講演要旨集(P2004)

3.					
----	--	--	--	--	--

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	若い世代の食育推進事業	北九州市	○坂田郁子 永原真奈見	69,916 円
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.			
2.			
3.			

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2021 年 6 月 16 日 ～2024 年 3 月 31 日	保健福祉学部栄養学科長	
2.			
3.			